出来ごころ（1933）

メディア 映画
ジャンル ドラマ　コメディ
製作国　日本
色彩　B&W
時間　100分
初公開日 1933/09/07

【解説】
　坂本武演じる喜八を主人公とした「喜八シリーズ」の第一弾。小津安二郎が自らの原案を監督した。脚本は池田忠雄。ちなみに喜八のキャラクターは、後の「寅さんシリーズ」の原点とも言われている。
　長屋で息子の富夫と二人で暮らす喜八は、日雇い労働者として工場に勤めている。同僚で隣に住む次郎と一緒に演芸場へ出かけた喜八親子は、その帰り道で春江という女性と出会う。彼女は工場をクビになり、行く当てがないという。喜八は、行きつけの食堂の店主である“かあやん”に、春江を泊めてほしいと頼み込んだ。春江は食堂に住み込みで働かせてもらうことになった。富夫は年甲斐もなく春江に熱を上げるが、彼女は次郎に興味を持っていた。

【クレジット】

監督	小津安二郎	
原案	ジェームス・槇　James Maki	（小津安二郎）
脚本	池田忠雄	
撮影	杉本正二郎	
美術監督	脇田世根一	
衣裳	斎藤紅	
編集	石川和雄	
出演	坂本武	喜八
	伏見信子	春江
	大日方伝	次郎
	飯田蝶子	おとめ
	突貫小僧	富夫
	谷麗光	床屋

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.